

# 今月の一言

キーワード：<sup>しゅえんわごう</sup>**衆縁和合**

日本企業の良さは、個人よりも集団に焦点を当てることで引き出されてきました。仲間としての強さや努力、そこから得られる喜びがモチベーションになっていたわけです。

当然ですが、個人と言う存在は、集団があってこそ成り立つものです。「陰陽思想」によれば、個と全体は一体不可能なのです。それを個の方にばかり焦点を当てていけば、人と人の関わりから生まれる組織としての強さが出てこなくなってしまう。

これは、仏教で言うところの「衆縁和合」という言葉につながってきます。あらゆるものは単独では存在し得ない、いろいろな縁が重なり合って生きていけるという考え方です。この日本的な感情の大部分が、今の日本企業からは失われていくように感じています。

著書：新・日本的経営を考える 著者：常盤 文克より

仏教とは読んで字の如く“仏（ほとけ）の教え”です。仏教の開祖は釈迦（しゃか）です。釈迦はインドのシャカ族の王子でその名をゴータマ・シッダルタといましたが、出家し、菩提樹の下でこの世の真理に目覚めました。釈迦が菩提樹の下で悟ったのは「縁起」の理法であったとされます。

**諸行無常**（しよぎょうむじょう）：一切の形成されたものは“無常”である。

この世に形ある全てのものは、同じ状態を保っているものはない。不定であり、たえず変化している。

**諸法無我**（しよほうむが）：一切の形成されたものは“無我”である。

この世に形ある全てのものは、私でもなければ、私のものでもない。実体はない。

**一切皆苦**（いっさいかいく）：一切の形成されたものは“苦”である。

この世に形ある全てのものは、望んでも得られない、私の思うようにならない、避けられない苦しみである。

**"いかなるものごとも独立して存在するのではなく、それぞれの原因と条件が相互に依存しあって存在している"**からであり、自然の摂理によるところであると説いたのです。

これを **衆縁和合（しゅえんわごう）** = **"縁起（因縁生起）"** といいます。

## 第一交易株式会社は、総合力で勝負や！

2013年2月25日

さいのう とおる

追伸：最近、事故が多くなっていますので十分注意して